


# 第13回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議

An aerial illustration of a city square during a festival. The square is paved with cobblestones and features several trees, a large white tent on the left, and various stalls and seating areas. People are depicted walking and sitting throughout the square. A road with a crosswalk and a bus is visible on the right side of the square.

令和6年3月28日  
沼津市水道部庁舎

1. (都) 三枚橋錦町線道路空間（パークレット・ゼブラ帯）の  
利活用について
2. 駅前交差点南北地上横断化及び実践広場について
3. 新たな情報発信について
4. 長期的な整備に向けた検討について
5. 本日の検討・確認いただきたい事項



# 沼津市中心市街地まちづくり戦略：段階的な取組イメージ

- 沼津駅周辺総合整備事業の事業期間は長期に渡り、その効果は事業進捗に応じて 短期・中期・長期と段階的に現れることから、これに応じて **段階的に空間・交通再編** に取り組む。
- 現在は、公共空間再編整備計画の実行として **中期の実現に向けた取組と連立高架事業の進捗に合わせた長期に向けた取組が進められている。**



## 【短期の取組】

- 南口のバス乗降場を方面別に再編
- 南口駅前街路で、車線数減少・歩行者空間拡大の社会実験
- 公共空間の利活用 他



## 【中期の取組】

- 南口駅前広場の暫定整備
- 南口駅前街路の車線数減少・歩行者空間拡大
- 駅前交差点の地上横断化 他



## 【長期の取組】

- ヒト中心の駅前広場整備
- 南口駅前街路のトランジットモール化
- 駅周辺回遊動線の整備 他





# 1. (都) 三枚橋錦町線道路空間 (パークレット・ゼブラ帯) の活用について

# (都) 三枚橋錦町線暫定整備 (パークレット設置) について

## ■パークレット設置の位置付けとねらい

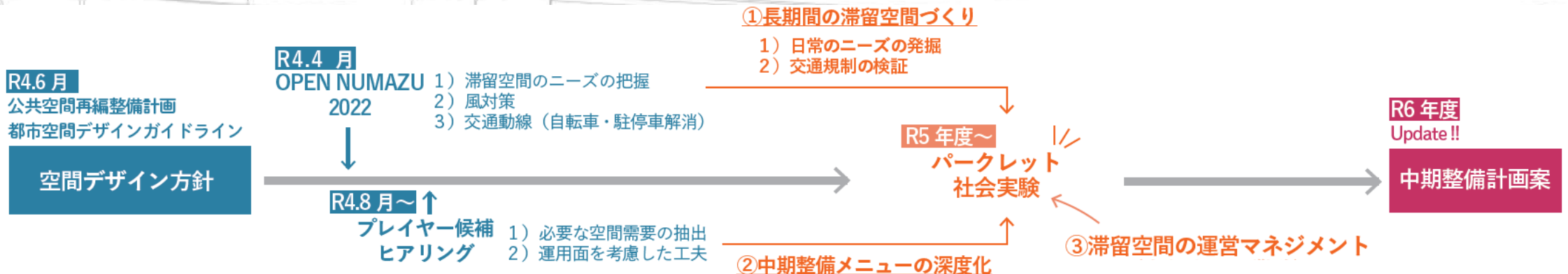
今回のパークレットは「OPEN NUMAZU 2022 STREET」から得た成果や課題を反映した①長時間の滞留空間づくり、昨年度のプレイヤーヒアリングの結果を反映した②中期整備メニューの深度化をベースに空間を構成し、(都) 三枚橋錦町線の再整備に向けた計画の精度を高める大きなアクションとなっている。また、パークレットの管理運営についても③滞留空間の運営マネジメントとして捉えて、実際の運用に向けた検証を行う。

### 社会実験の仮説と検証項目

- ①長期間の滞留空間づくり
- ②中期整備メニューの深度化
- ③滞留空間の運営マネジメント

イーラde

パークレット設置場所





# パークレットの設置報告

## ●パークレットの設置状況



パークレット全体像



# パークレットの設置報告

## ●パークレットの設置状況



パークレット全体像



# パークレットの設置報告

## ●パークレット内の設え：ベンチ・カウンター





# パークレット各種調査の速報版

## ●パークレット設置に伴う仮説と検証項目

### ①長期間の滞留空間づくり

#### 仮説

1. 長期間のパークレットの設置においても大きな交通影響はない。
2. 歩道空間に自転車の通り抜けを防ぐことで、歩行者が安心安全に歩行が可能となる。

#### 手法

- 現状の三枚橋錦町線の路肩にある矢羽根表示を、パークレットや停車帯の外側へ設置し、自転車の円滑な通行動線を誘導する。

#### 調査分析

- 交通実態調査

### ②中期メニューの深度化

#### 仮説

1. 長期間のパークレットの設置による将来の「日常」風景の定着が図られる。
2. 出店に加えて、日常的かつ長期的な多様な使い方を引き出すことができる

#### 手法

- 三枚橋錦町線の車線を仮説的に削減し、1年半のパークレット設置。
- プレイヤーヒアリングで得られたパラソルやwi-fiなどを運用し、需要を確認。

#### 調査分析

- 設置初期・中後期でのアクティビティ調査
- スナップショット調査
- 利用者アンケート

### ③滞留空間の運営マネジメント

#### 仮説

1. 地先を使いこなす仕組みを沿道事業者と検討することで、運営マネジメントのトライアルができる。
2. パークレットの管理運営の運営チームと一体に議論を行うことで、持続的な運営管理手法を検討できる。

#### 手法

- 今年度のOPENNUMAZUの取組と連携し、運営のあり方を検討
- 沿道関係者に対しヒアリングを実施

#### 調査分析

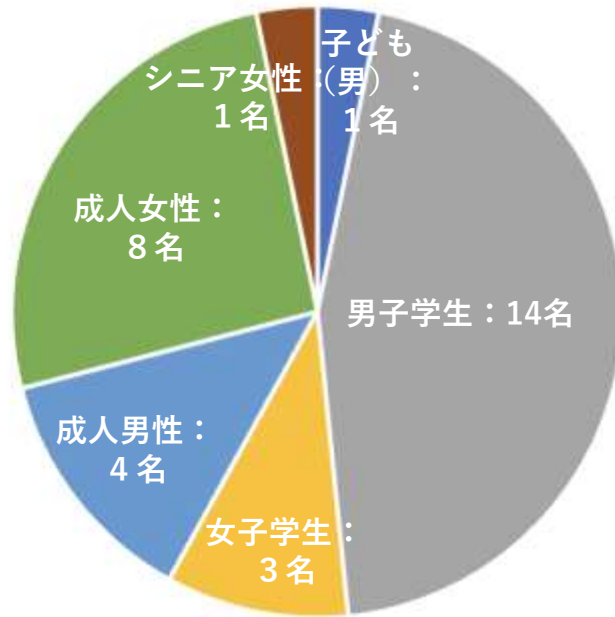
- アンケート調査  
〔利用者・来場者  
出店者  
コンテンツ提供者〕

# パークレット各種調査の速報版

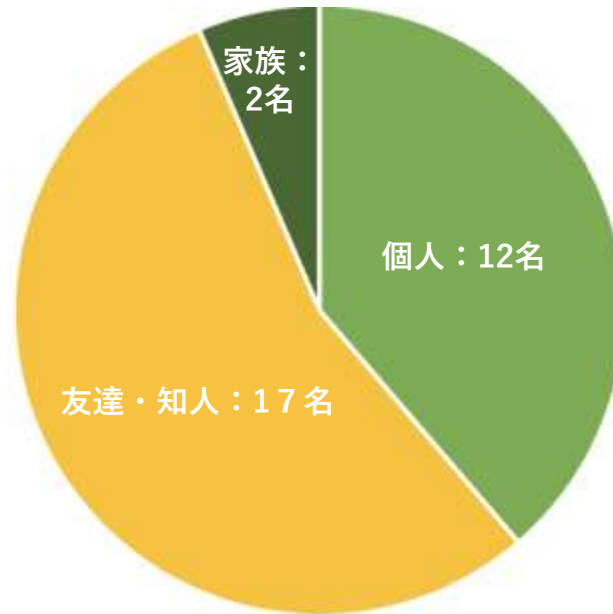
## ●アクティビティ調査

平日調査：10/31（火）10:00~20:00（30分毎測定）

調査カウント総数：31名



属性



利用グループ

### 当日見られた上位3位のアクティビティ

- 1位 会話：14名
- 2位 スマホ：10名
- 3位 眺める：2名

### 調査結果の概要

- ・全体の半分以上の利用者数を学生が占めていた。
- ・全体的に男性の利用割合が高い。  
→一方で、成人女性の利用率も全体の1/4近く占めている
- ・個人利用から友達などの複数利用まで受け止めていた。



# パークレット各種調査の速報版

## ●アクティビティ調査

平日調査：10/31（火）10:00～20:00（30分毎測定）

当日見られたアクティビティ

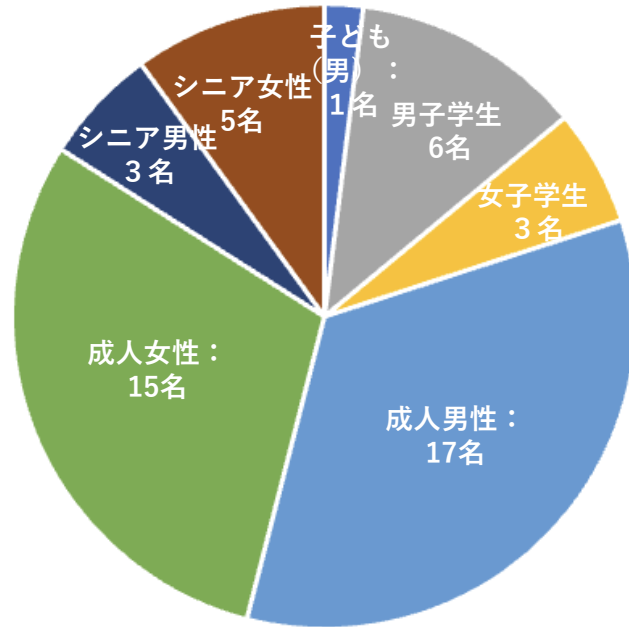


# パークレット各種調査の速報版

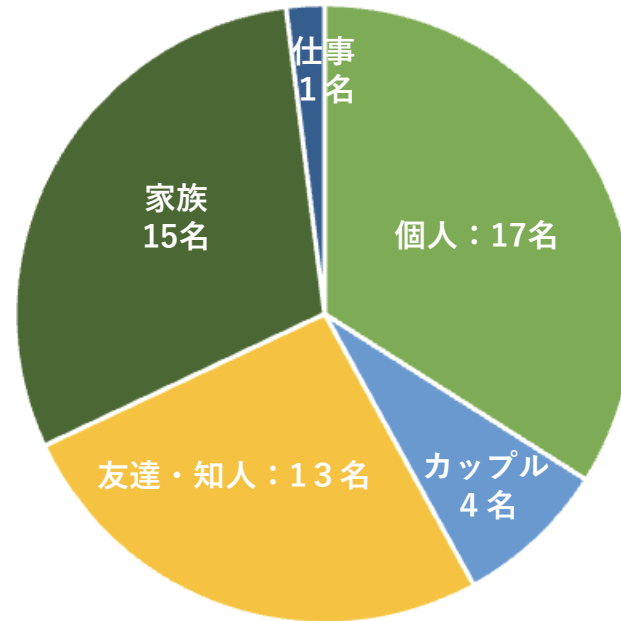
## ●アクティビティ調査

休日調査：11/4（土）10:00~20:00（30分毎測定）

調査カウント総数：50名



属性



利用グループ

### 当日見られた上位3位のアクティビティ

- 1位 会話：21名
- 2位 スマホ：15名
- 3位 飲食：3名

### 調査結果の概要

- ・学生からシニアまで幅広い世代が利用していることが分かった。
- ・個人から家族まで、幅広いグループの利用を受け止めていることが分かった。
- ・会話やスマホなど日常的なアクティビティを行う場所として認識されていることが分かった。



# パークレット各種調査の速報版

## ●アクティビティ調査

休日調査：11/4（土）10:00~20:00（30分毎測定）

当日見られたアクティビティ



# パークレットの維持管理・利活用のルール

パークレット社会実験の1年半の期間、空間を維持管理するためには運営の視点が必要であり、中期整備以降も同様である。パークレットがプレイヤーや地元組織による維持管理や運営に関わるきっかけとなることで、今後の占用団体のベースづくりとしても効果を期待する。

## ●パークレットの利活用ルールに関する今後の検討項目

### 維持管理の視点

#### 高校生との植栽管理トライアル

- 植栽管理や施設のメンテナンスを通して、高校生がまちに関わるきっかけづくりを継続的な仕組み化する。
- 三枚橋錦町線の将来整備の利活用施設の維持管理方法等のあり方などに反映を行う。

### 利活用の視点①

#### OPEN NUMAZU Weekendと連携した歩道出店トライアル

- 地先活用の一環として、パークレット周辺での出店のトライアルを行い利用ルールに向けた課題などを把握する。
- 三枚橋錦町線の将来整備の利活用施設のあり方などに反映を行う。

### 利活用の視点②

#### パークレット前後のゼブラゾーンの活用検討

- 今回のパークレット整備によって生まれたゼブラゾーンに関して、有効な利用方法を検討する。
- 三枚橋錦町線の将来整備の歩道内施設として導入検討を行う。



# パークレットの維持管理・利活用のルール

## 維持管理の視点

### 高校生との植栽管理トライアル “OPEN NUMAZU Green Project”

#### ● 植栽管理について

- ・ OPEN NUMAZU Green Projectとして、高校生と植栽の維持管理に関わっていただき、運営に関する課題を蓄積する。



WSには5つの高校が参加

- 簡易な維持管理を3高校が分担して担当
- ワークショップで植えた花は、半年に1度ごとに  
植え替えなどを行い、巻き込む人を増やしていく。



# パークレットの維持管理・利活用のルール

## 利活用の視点①

### OPEN NUMAZU Weekendと連携した歩道出店トライアル

#### ●パークレット前歩道内での出店トライアル（OPEN NUMAZU Weekend）

- OPEN NUMAZU Weekendの一環として、パークレット前の歩道で簡易屋台による出店を実施  
⇒10月・11月・12月とのトライアルを実践。出店における課題などが認識された。

R6沼津駅南口周辺エリアにおいて社会実験等の取組と連携し、パークレットでの利活用ルール化に向けたトライアルを続ける





# パークレットの維持管理・利活用のルール

## 利活用の視点②

### パークレット前後のゼブラゾーンの活用検討

#### ●パークレット周辺の利活用の検討

車両を誘導するためのゼブラゾーンについて、ゴムポールの内側に約2.8mの空間が生まれており、今後活用の可能性を検討したい。



#### ●パークレット周辺の利活用例（他都市事例）

- ・ **駐輪場** ISEMACHI PARKLET：パークレットに隣接して駐輪場を設置  
ハレノヒサイクル：シェアサイクル



R6年度にゼブラ内に駐輪場を整備予定

- ・ キッチンカー、テーブル・椅子

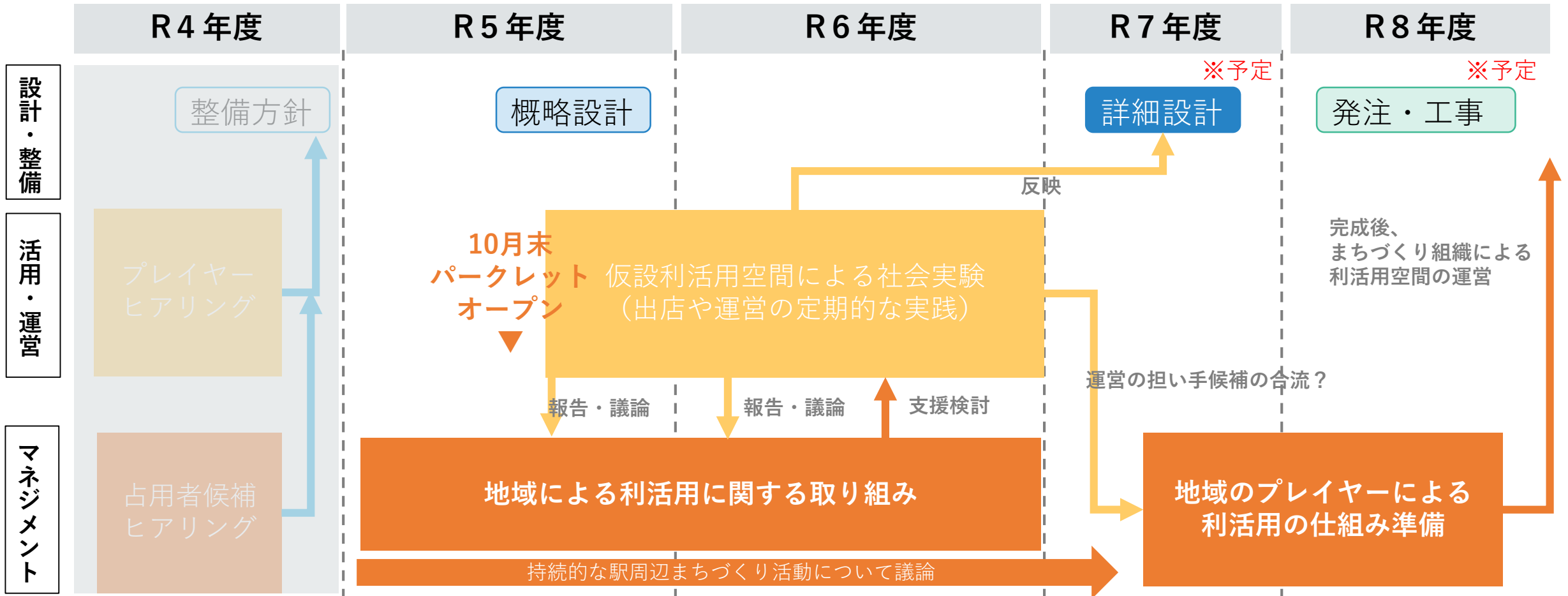
- ・ 働くクルマ等イベント



# 三枚橋錦町線西側区間の整備に向けた検討

## ■整備のステップについて

将来の空間利活用の実践の場として長期的な社会実験（R5・R6）を実施し、併せて沼津駅周辺のまちづくり活動やそれを支えるマネジメント組織のあり方について議論を進め、持続可能なまちづくりに向けた仕組みづくりを目指す。







## 2. 駅前交差点南北地上横断化及び実践広場について



# 中期に向けた公共空間再編の整備方針

## 「利活用広場」：空間利活用によるにぎわい空間



周辺事業者等による公共空間の利活用によりにぎわいを生み出し、市民の日常的な居場所となる広場。歩行者動線と空間特性の高いポテンシャルを活かし、市民が集う場所とする。

## 南口駅前広場の暫定整備



## 「おもてなし空間」：まちの玄関口

駅利用者へのおもてなし空間として、公共交通・観光などのサインの充実やまちへの誘導、待ち合わせ空間の創出など、まちの玄関口としての機能を充実させる。

## 拠点施設 + 実践広場

R 6 年整備予定

駅前に自由に使える緑豊かな芝生広場と、ヒト中心の沼津のまちなかを実装するための拠点施設を備えた広場。駅前広場が奥まっている要因を解消し、駅とまちの近接性を高める。



## R 8 年以降整備予定

### 三枚橋錦町線：西側

沼津駅周辺の商業の中心として、回遊性の拠点となるストリート。沿道店舗等の地先利用により駅前広場からまちへとにぎわいをつなげる。

### 沼津駅沼津港線：西側

沼津駅と沼津港を結び、沼津のまちなかのシンボルとなるメインストリート。西側の仲見世商店街との接続性を高めるとともに、沿道店舗の利用と連携した滞在空間を創出する。

## 駅前交差点の地上横断化

## 駅前街路の再配分

### 三枚橋錦町線：東側

駅前広場とまちを繋ぎ、駅まち環状へと人と交通の流れをつくるストリート。

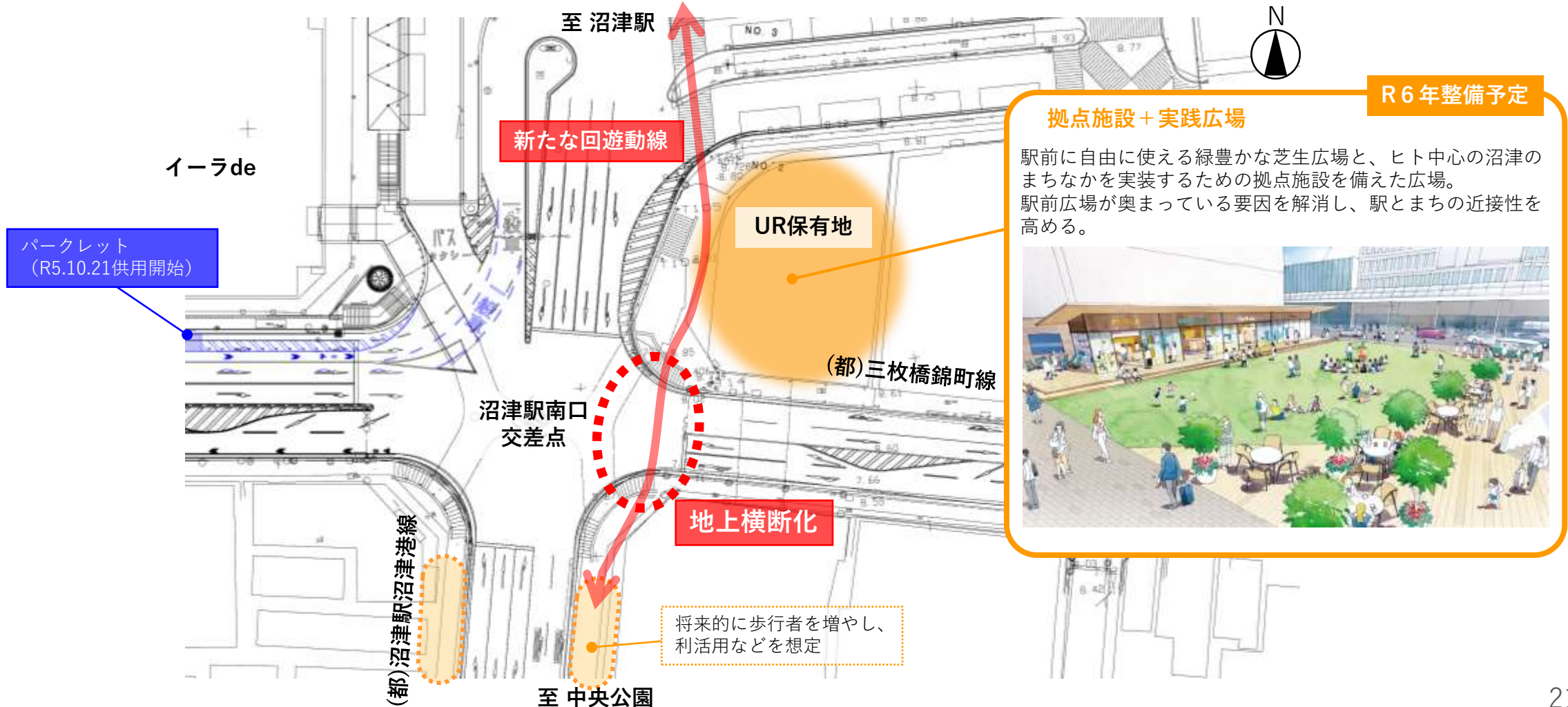
### 沼津駅沼津港線：東側

沼津駅と沼津港を結び、沼津のまちなかのシンボルとなるメインストリート。業務や住居など日常的な利用がされる東側エリアとのつながりや中央公園からの滲み出しを意識した道路利活用空間を設ける。



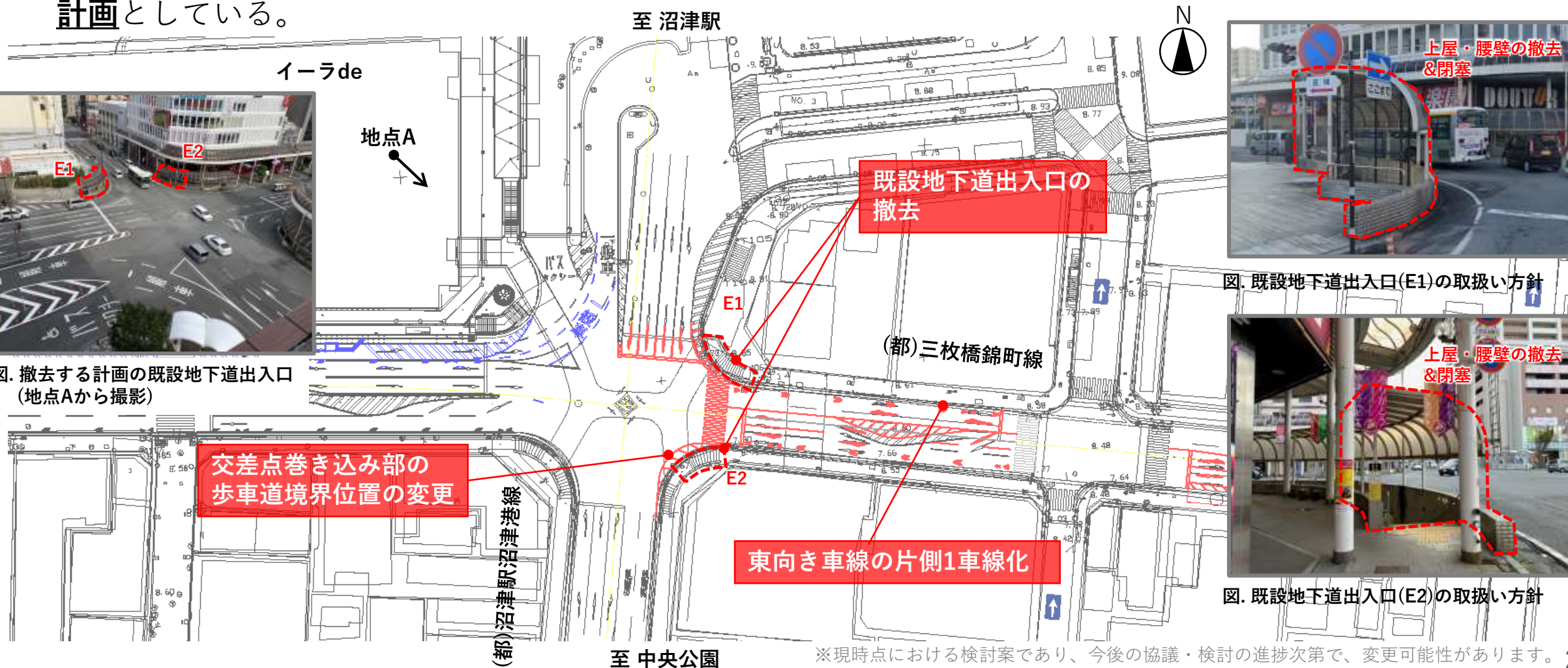
# 沼津駅南口交差点の地上横断化

- R6年に拠点施設と実践広場が整備予定であり、沼津駅南口の回遊性が高まる契機となる。
- 拠点施設と実践広場の整備と合わせて、**沼津駅南口交差点の地上横断化を一部(交差点東側の南北方向)実施**することで、駅前からまちなかへの回遊をさらに促す歩行者動線づくりを行いたいと考えている。



# 沼津駅南口交差点の地上横断化

- 交差点コンパクト化と歩行者の溜まり空間確保のため、**交差点巻き込み部の歩車道境界位置の変更**と**路面表示の変更を計画**している。
- 歩行者の溜まり空間確保と自動車からの見通しを考慮し、交差点直近の**既設地下道出入口(E1、E2)撤去を計画**としている。





# UR保有地（旧西武沼津店本館跡地）活用の概要（ご報告）

- 将来の駅前広場の再編整備を見据え、誰もが気軽に立ち寄り、自由にくつろげる居心地のよい空間を生み出すべく、広場と建物が一体的に使われる空間を整備。この空間は、立ち寄りたくなる魅力あるコンテンツの提供を行う**拠点施設**と、まちなかでの新たな過ごし方や活動を生み出す**実践広場**を組み合わせることで構成。
- 中心市街地の活性化のために、沼津市・UR都市機構・民間事業者の3者が協働で土地の活用を行い、将来のエリアマネジメント活動も見据えた取り組みを進め、まちなかへの展開も検討。

※ 拠点施設はURが公募する民間の事業パートナーが整備し、実践広場は沼津市が整備予定。



**実践広場**

- 芝・植栽等を配した緑による居心地の良い空間で、日常的なくつろぎと多様なイベント開催等に対応できるオープンスペースを有する空間

**拠点施設**

- 実践広場と一体的な活用が可能なデザインとし、「店舗部」と「地域貢献部」で構成

**店舗部**

- 実践広場での滞在と親和性の高いテナントを誘致するスペース

**地域貢献部**

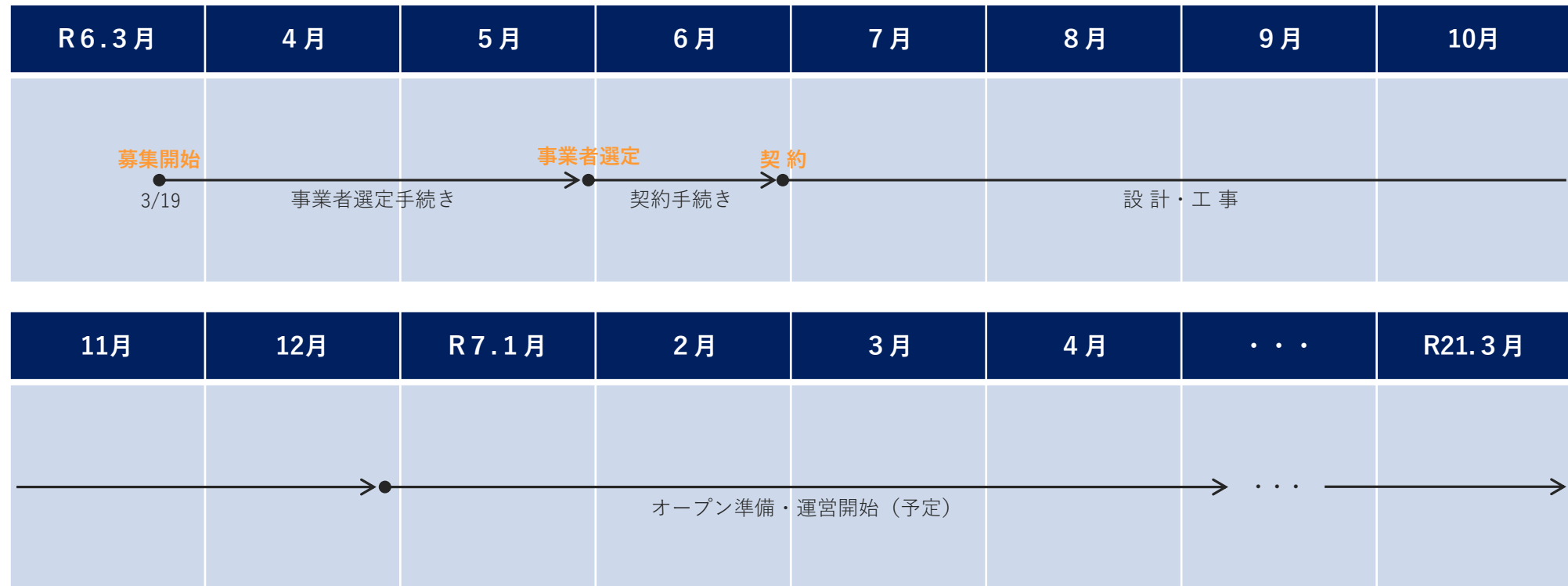
- 気軽に立ち寄り、日常的なコミュニケーションを生むきっかけとなるカフェ等のコンテンツスペース
- 人や情報、活動の結節点となり、まちづくり活動を支援する拠点スペース（地域活動イベントやスタートアップ支援等を中心に展開）

※ 現時点での計画のため、変更となる場合があります。 23

公共空間再編整備計画で示したUR保有地活用のイメージ

# UR保有地活用スケジュール（予定）

- 令和6年5月下旬に事業パートナー選定、6月中に借地契約予定
- 令和6年度中に整備完了予定
- 令和20年度末まで約15年間の長期活用を想定



※ 現時点でのスケジュールのため、変更となる場合があります。

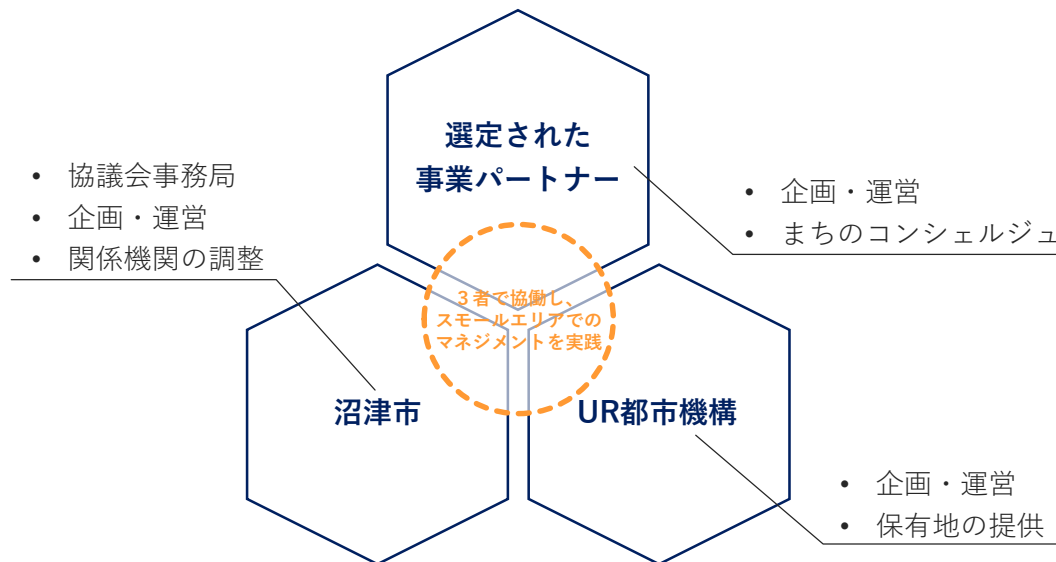


# UR保有地活用の運営体制

- 沼津市・UR都市機構・選定された事業パートナーの3者で協議会を設置し、当施設の運営を実施
- 将来の沼津駅周辺のエリアマネジメントを見据えながら、まずは拠点施設・実践広場の活用等を通して、協議会がスモールエリアでのマネジメントを実践

## (仮称) 沼津駅南口実践広場等活用協議会

- 拠点施設（地域貢献部）・実践広場を運営
- 沼津駅周辺の再編整備に先立ち生まれる広場空間として、ヒト中心のまちづくりに資する居心地の良い空間づくりを先導的に実践
- 実践広場を活用して、気軽に立ち寄り、過ごしたくなる平時の空間づくりと、広場活用の機運醸成・仕組み構築等を狙い、集客を誘発する定期的なイベントを展開
- 拠点施設（地域貢献部）を人と人とのつながりや様々な活動を生む、まちづくりのハブとして運用



協議会の活動をきっかけとして、賛同いただける周辺事業者とともに沼津駅周辺のエリアマネジメント団体の発足へ





### 3. 新たな情報発信について



# 新たな情報発信に関する取組

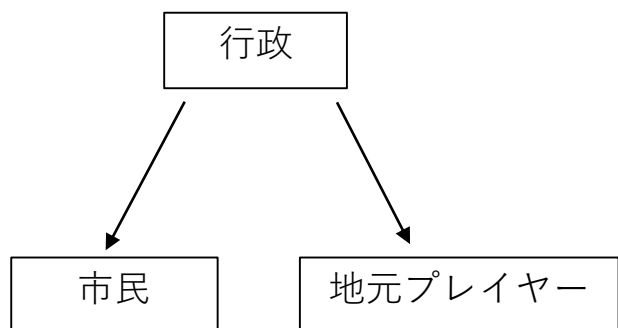
## ■目的

- ・まちづくりについて関心の度合いに関わらず、どのような市民でも容易に参画できる体制の構築
- ・まちづくりに関心の強い市民及び団体を活動に巻き込める体制の構築

➔ **デジタルプラットフォーム**を構築し、行政・市民・地元プレイヤー及びエリアマネジメント組織（エリアの活用をまとめる組織体）での**双方向による情報発信**を可能とする。

## ■運用イメージ

これまでの情報発信

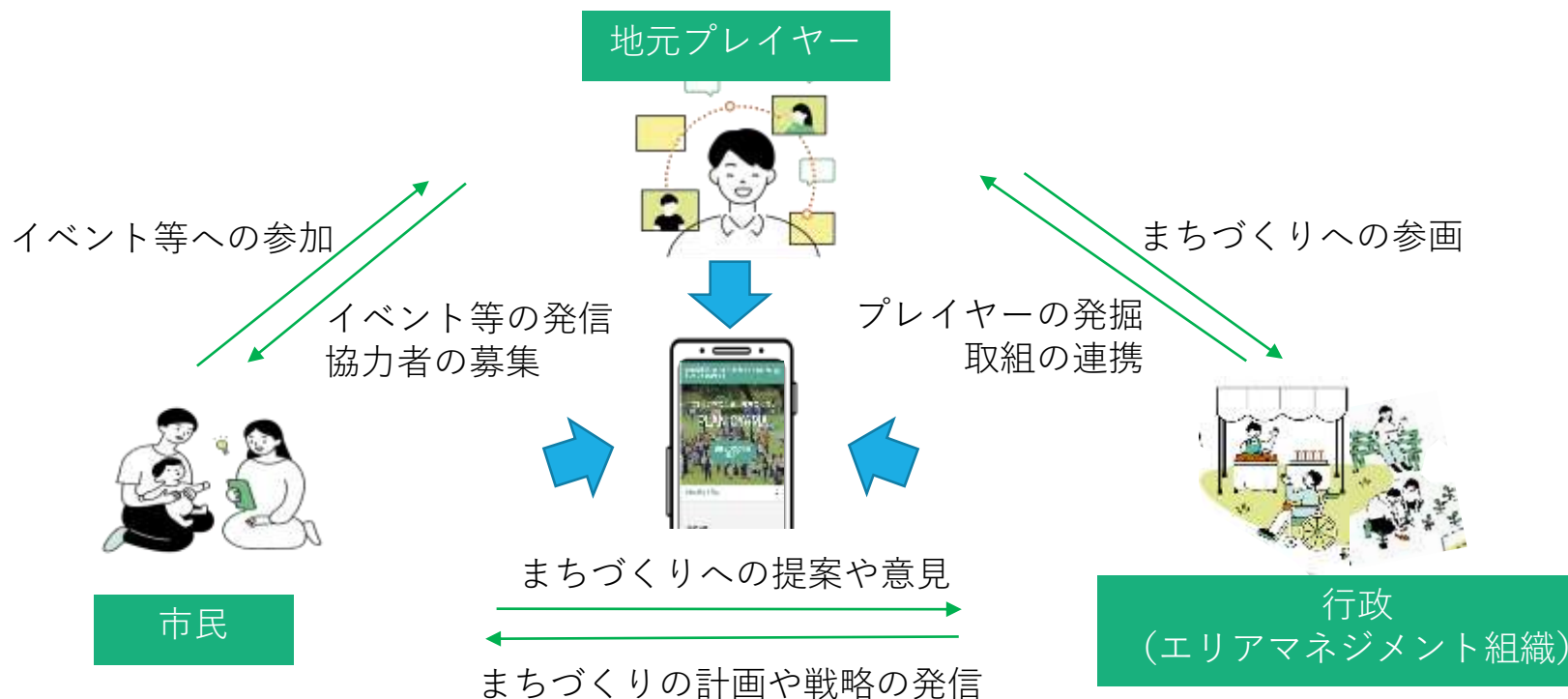


- ・広報誌
- ・市HP
- ・SNS
- ・PR動画
- ・小冊子
- 等

**一方向による情報発信**

新たな情報発信

※デジタルプラットフォーム（双方向による情報発信）



# 情報発信に関するR6年度の取組

## ■R6取組の方向性

- ・まちづくりの情報周知：対象となる事業を推進する上での透明性担保
- ・市民からの意見募集：これまで参加が難しかった層を巻き込む機会提供、市民ニーズの吸い上げ
- ・新規プレイヤーの見出し：OPEN NUMAZUへの意見・協力募集を通じた、意欲を持った市民・主体の発掘

## ■R6対象事業及び運用イメージ

- まちづくり戦略会議
  - ・ ・ ・ 開催結果の報告、まちづくりに対する意見募集、まちづくり戦略についての説明
- OPEN NUMAZU
  - ・ ・ ・ 取組への意見募集、参加者募集、結果の公表、商店街の取組など関連する取組についても情報を掲載
- PARKLET
  - ・ ・ ・ 施設の説明、利活用に関する意見募集、利活用を希望する団体の募集
- まちなか実践広場（UR保有地）
  - ・ ・ ・ 広場整備に関する進捗状況等の発信、活用状況（イベント）の発信
- 学生の参画
  - ・ ・ ・ OPEN NUMAZU Green Projectや、まちなかデザイン会議等への高校生の参画情報の掲載



# 社会実験を通じたまち・ヒトづくりのイメージ

## 参画の拡大

### 1. 市民参加の間口を広げる

- ・まちなかデザイン会議等の開催による事例紹介、市民啓発、情報発信
- ・まちづくりの専門家などによる講習会やアドバイス支援

### 2. 参画の機会をつくる

- ・まちづくりシナリオのステップに応じた、社会実験の実施、参加呼びかけ
- ・公共空間に必要なインフラ等に関するヒアリング

### 3. 継続的な活動を支援する

- ・継続的なまちなかでの活動体制強化への伴走支援
- ・道路占用等の空間活用に必要な行政手続に関する相談・支援

## 活動同士の連携

市内でまちづくり活動を行っているプレイヤーや団体同士の交流機会の創出  
都市空間デザインガイドラインを意識した空間づくり活動の支援

活動コミュニティの形成、エリアマネジメント団体等の立ち上げへ



## 4. 長期的な整備に向けた検討について



# 駅舎等のデザイン検討について

## ■検討方針

### ◆沼津駅の新駅舎、南北駅前広場、高架下を一体的にデザイン

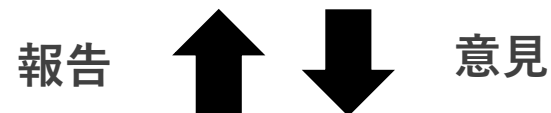
⇒ヒト中心の使いやすい駅とするために、高架下の施設配置や駅周辺の土地利用を加味して、ヒトの動線を検討する。

⇒ヒト中心の公共空間再編を実現するため、南北駅前広場の見直しを行う。

### ◆長期の沼津駅周辺のあり方を示すとともに、段階的な整備効果の発現を目指す

 **デザイン基本計画**を策定し、目指すべき方向性を示す

## ■検討体制

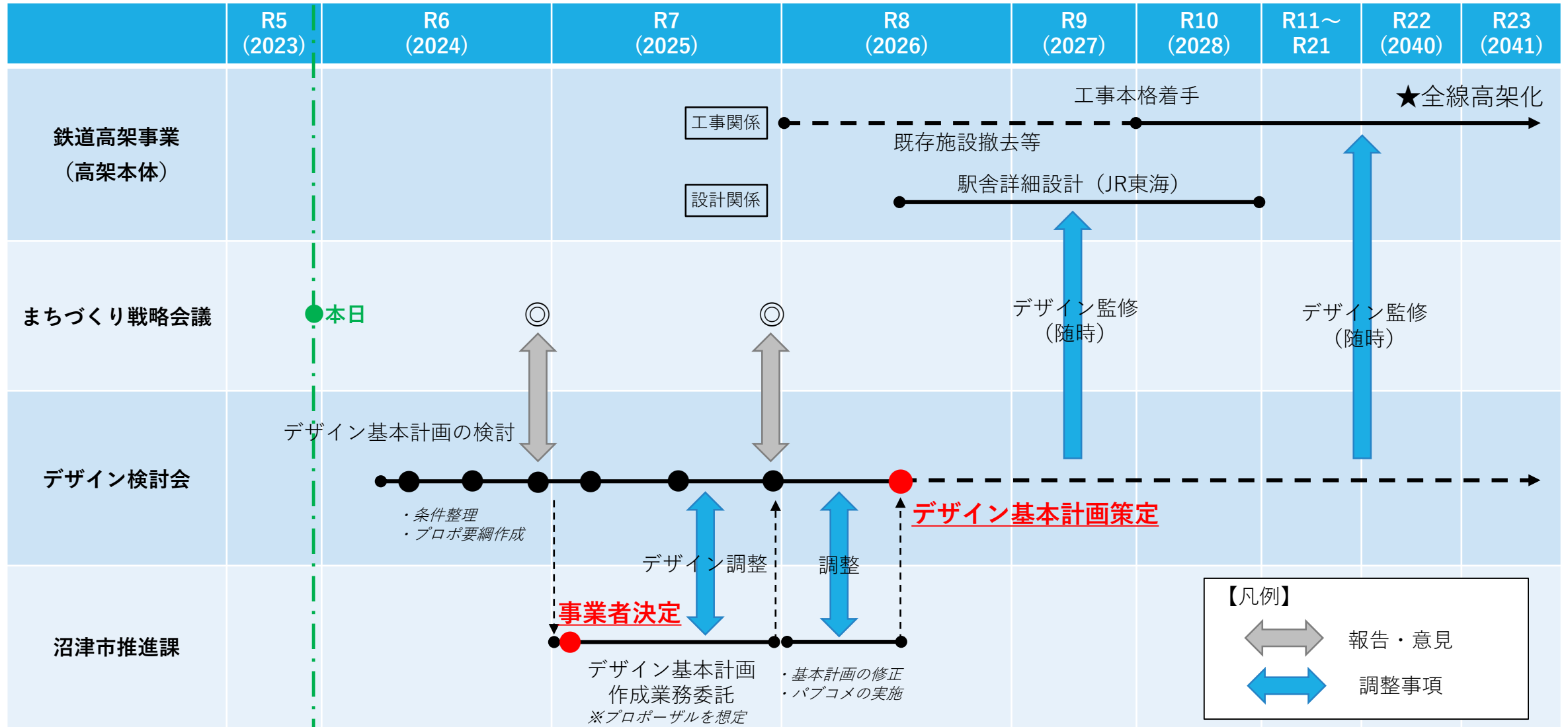


**(仮称) 駅舎等デザイン検討会**

- ・ 駅舎、駅広、高架下に関するデザイン基本計画（案）の作成、監修
- ・ 継続的なデザイン監修

# 駅舎等のデザイン検討について

## ■スケジュール（案）







## 5. 本日の論点

# 本日検討・確認いただきたい事項

---

本日は主に下記の内容について、ご意見、ご確認いただきたい。

## 1. (都) 三枚橋錦町線道路空間 (パークレット・ゼブラ帯) の利活用について

- パークレットの利活用方法や運営方法についてのご意見
- 設置中に試行すべきアクティビティやイベントのあり方等

## 2. 新たな情報発信について

- 双方向型の情報発信を活性化させるためのご意見
- 市民の意見収集の方法について

## その他

- 地上横断化について
- 長期的な駅前広場の検討に関して